ひたち野みずべ公園

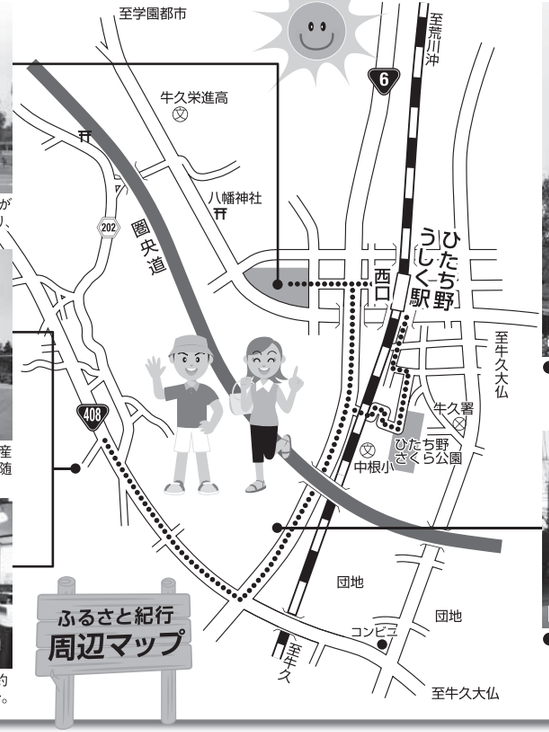
●四季を感じる森林浴や調整池のカモたちが迎えてくれる公園。2通りのコースがあり、ウォーキングなどに最適。

ポケットファームどきどき

●地元の新鮮な農産物の直売を通して地産地消を推進している。さまざまなイベントが随時開催されている。

どきどきレストラン

●新鮮野菜たっぷりの約60種類の料理と約20種類の飲み物を揃えたブッフェレストラン。



牛久大仏

●浄土真宗東本願寺の霊園にある大仏。高さ120mはブロンズ製立像としては世界一で、ギネスブックにも登録されている。

明恒パール

●店内ではオリジナルの真珠アクセサリー（ストラップやネックレスなど）の製作体験もできる。

● 散策コース ●

西口から国道6号線を渡って進むと「ひたち野みずべ公園」がある。住宅街などの開発が進んだ地域のオアシスで、四季折々の自然が楽しめ、ウォーキングやジョギングを楽しむ人々の姿が見られる。公園で足慣らしを済ませたら、国道6号線を南下して「明恒パール」へ。霞ヶ浦や新利根川は全国有数の淡水真珠の産地で、自社養殖の淡水真珠を加工販売している。さまざまな色や形がある真珠は見もの。アクセサリー製作体験教室もあり、世界で一つだけのオリジナルアクセサリーを製作できる(5人以上の予約で開講)。

国道408号線沿いにある「ポケットファームどきどき」は、広大な敷地に農産物直売所やレストラン、バーベキューハウス、体験教室などがある。新鮮野菜を使ったレストランで昼食を楽しむのもいい。茨城自慢のローズポークを使ったソーセージは特に好評で、毎週金・土・日曜日には手作りソーセージ教室もある(要予約)。

駅に戻る際は桜の並木道が気持ちいい「ひたち野さくら公園」を通りたい。

どきどきレストランで人気のブッフェ。

●お問い合わせ／牛久市観光協会☎029(874)5554 ●企画・制作／読売茨城広告社☎029(244)5555

Vol.65

駅からのふるさと紀行 JR常磐線

ひたち野うしく駅

牛久（うしく） ― 荒川沖（あらかわおき）

●次回は9月24日
「上菅谷駅」を掲載予定です。

※イラストはイメージです。

働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社／〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215㈹
http://www.ibaraki-isuzu.co.jp

広告

●島式ホーム2面4線の地上駅で、橋上駅舎を持つ。駅周辺には新興住宅地の開発が進み、東京・つくば方面や土浦・水戸方面への通勤通学客が増え、年々利用客が増加している。

●宅地開発が進む駅東口。

●西口に平成21年に設置された万博中央駅の記念碑。

つくば科学万博の玄関口として賑わった万博中央駅 新興住宅街を擁するひたち野うしく駅として再興

昭和60年に開催され、2033万4727人が訪れた国際科学技術博覧会。その開催に合わせ、来場者を迎える玄関口として、常磐線の牛久駅―荒川沖駅間に「万博中央駅」が設置された。巨大なテントが張られた駅は1日最大20万人が乗降できるように設計され、駅と万博会場はシャトルバスで結ばれた。

万博終了の13年後となる平成10年、ひたち野うしく駅が新設された。橋上化された近代的なデザインの駅舎は、翌年、「関東の駅百選」に選定されている。平成21年には駅西口に万博中央駅の記念碑が設置された。駅の周囲は宅地開発が進み、利用者は年々増加している。

平成24年には駅の北西に「イオンモールつくば」が開業するなど、周辺の発展は続いている。都市機能と昔からの豊かな自然が入り交じる風景は、首都圏の拡大を肌で感じられる。